

TRUE [trú:]

まっすぐに届ける。

まっすぐを届ける。





みなさんは誰かに贈り物をするとき、
どんな気持ちでしょうか？

気に入るかな？

喜んでくれるかな？

長く使ってくれるかな？

期待、不安、希望など、

贈り物にはいろいろな気持ちがかもつていると思います。

そして、もしそれが遠くの人に送るものなら、

包装はきれいかな？

中身は壊れていないかな？

ちゃんと届くかな？

そんな心配も抱くことでしょう。

それは会社が誰かに贈り物を届けるときもまったく同じです。

商品を買ってくれたり、

サービスを利用してくれた人にプレゼントを贈る。

そういうキャンペーンに、

みなさんも応募したことがあるかも知れません。

そのとき、会社にとって応募者は、とても大切なお客様です。

みなさんが贈り物をするときと同じような気持ちで
品物がきちんと届けられることを期待しているのです。



私たちの仕事は、
会社のキャンペーンやイベントをお手伝いすること。

より効果的なキャンペーンにするための
セールスプロモーション（SP）をはじめ、
プレゼント応募者の管理から、
品物のお届けまでをすべて手がけています。

ですから、責任は重大。

私たちが会社と応募者をしっかりとつなげなければなりません。

会社が品物にこめたい「想い」をしっかりと受け止めるとともに、
その効果を最大限にするための
企画力、運営力、心構えが求められます。

ですから、私たちはこんな経営理念をかかげています。

まっすぐに届ける。
まっすぐを届ける。



まっすぐに届ける？

当たり前といえば、当たり前ですね。

しかし、品物が安全に、確実に、迅速に届くこと。

「まっすぐ」であるには、これらの条件をすべて満たさなければなりません。

その実現には、長く培ってきた経験やノウハウ、多彩な工夫が必要です。

私たちは物流プランナーのプロとして、よりよい方法や環境を追求し続けています。

そして、まっすぐに届ける。

会社が応募者にプレゼントを贈るとき、同時に届けたいのは、お客様への感謝というまっすぐな「想い」です。

それを任されている私たちは、私たち自身が「まっすぐ」でなければなりません。利益などを優先する前に、

まずは依頼主の会社に喜んでいただくこと。

私たちのそんな「まっすぐ」が、キャンペーンを成功に導くのです。

「まつすぐ」は「真っ直ぐ」と書きます。
ほかに、「真」の字を使った言葉はたくさんありますよね。

真実、真摯、真心。

そこには、嘘をつかないこと、誠実であること、真面目であること、
たくさんさんの意味が含まれています。

そして、これこそが仕事の基本であると私たちは考えています。



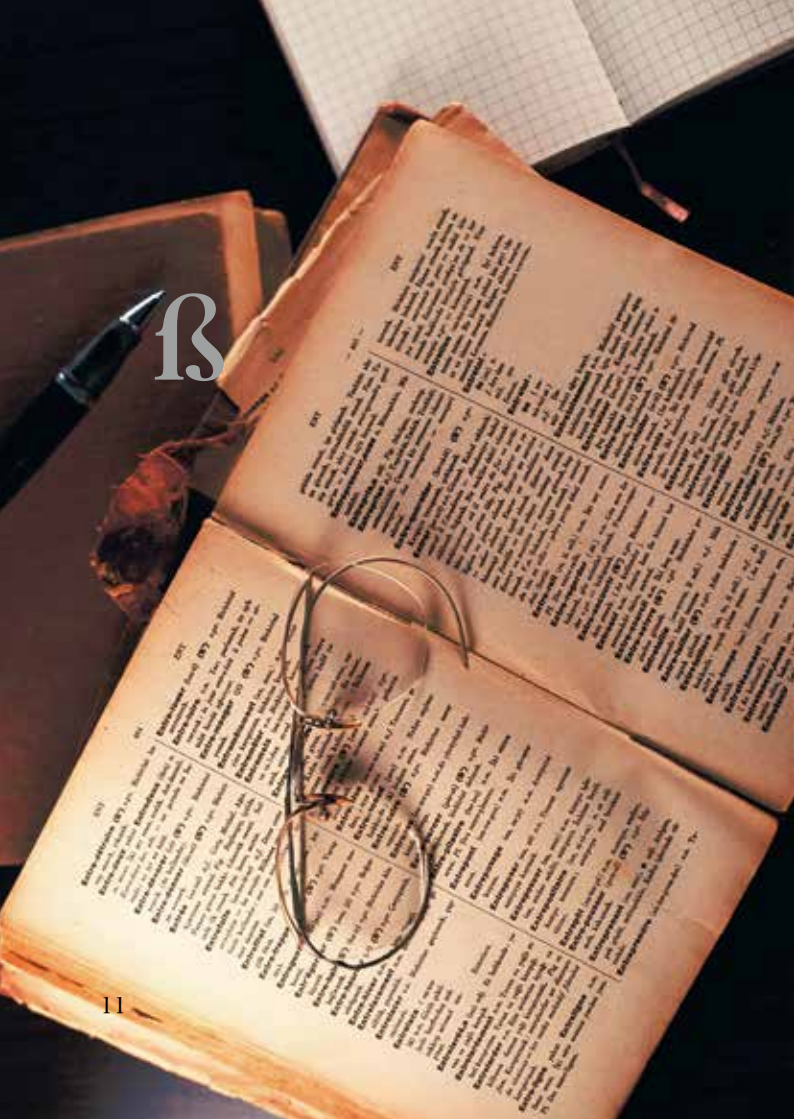
すべての根本は「真」

みなさんに求めるのは、
このような「真」の気持ちやふるまい。

仕事の能力が高いにこしたことはありません。
しかし、「真」のハートが欠けていては
決してお客様の「想い」を届けることはできません。

「真」が少し古くさいならば、
「TRUE」と置きかえてみてください。

自分はいま「TRUE」であるか。
いつも自問自答できる人間を求めています。



“

true [trú:]

原義：忠実な - 形 (通例 tru•er [est])

- ① 真実の, 本当の (↔ false)
- ② [通例限定] 本物の, 真の (real); 純粋な, 純種の
- ③ […について] 当てはまる
- ④ 誠実な, 偽りのない; [叙述][…に]…忠実な [to]
- ⑤ 正確な, 間違いのない

大修館 ジーニアス英和辞典より

”

人の喜びによりそう

自分の求める何かが実現したとき、
そこには大きな喜びがあります。

しかし、みなさんが贈り物をあげたり、
手助けしてあげた人が喜んでくれたとき、
より大きな喜びを感じないでしょうか。

きつと喜びの本質とは、
他者からの喜びを得ることにあるのだと思います。

それは仕事でもまったく同じです。
お客様に喜んでいただくことが、私たちの喜びにほかなりません。

しかし、相手が何に困り、
何によって満たされるかを理解しなければ
真の喜びにはつながりません。

つまり、相手によりそう気持ちは何よりも大切なのです。
私たちはお客様の声にしっかり耳を傾け、
一番の理解者にならねばなりません。

それにはコミュニケーション力も、
忍耐力も、工夫も求められます。

そんな人間力を追求できる人であってほしいと思います。



最高のゴールに導く

何かを実現しようとするとき、

まずはゴールを考えますね。

受験であれば志望校。

部活やサークルであればベスト〇〇進出など。

しかし、最高のゴールに到達するには、

それなりの戦略が必要です。

ましてや仕事となると、自分たちの満足だけではたりません。

お客様が「最高のゴール」だと感じてこそ、

私たちの「最高のゴール」なのです。

ですから、品物をお預かりする前から、
私たちの仕事ははじまっています。

お客様の求める結果やゴールをしっかりと把握すること。
果たすべき役割を考え、ゴールに導くための戦略を練ること。
そのために必要な環境を整えておくこと。

何かたりないことはないかをつねに考え、
お客様を「最高のゴール」に導いてください。



次代の才腕につなぐ

部活やサークルを経験してきたみなさんなら、歴史や伝統を引き継いでくれる後輩たちの育成は大きな課題だったでしょう。

その大変さや難しさも感じたと思います。

私たちもまた、みなさんに未来を託していますので、成長を強力に後押しし、

持てる力を存分に発揮してもらいたい。

そのための環境や仕組みを、しっかりと整えています。

とりわけ、物流というサービスに決まった形はありません。

運ぶ品物、運び方、交通網などは、

今後もどんどん変化するでしょう。

だからこそ、新たな「人」の発想力や力量が必要です。



私たちが培ってきたノウハウやマインドを学ぶとともに、さらなる発展や、新たな創造を目指す。

みなさんの若いパワーに期待しています。

仲間たちとわけあう

当たり前ですが、仕事は一人でするものではありません。

もちろん、それぞれに与えられた仕事はありますが、

それが組みあわさること、プロジェクトは進んでいきます。

ということは、仲間たちとのチームワークが何よりも大切。

一人でかかえこむのではなく、お互いが助けあうことにより期待していた以上の成果に結びつくのです。

みなさんを待っているのは、
この分野に長けた有能な先輩ばかりです。

何か困ったことがあれば、

遠慮なく相談して悩みをわけあってください。

同時に、仲間たちが困っていたら、

積極的に手をさしのべてください。

つまり、「思いやり」の気持ちを理解し、自分も表現する。

そうして自分の悩みや、相手の悩みを共有していれば

それぞれの仕事のレベルもどんどん上がっていきます。



仲間から素直に学ぶ

みなさんは何をもって、「成長」と考えているでしょうか。

人間の成長に決まった形はありませんが、一つには素直さがあると思います。

たとえば、誰かが成功したならば、素直な気持ちで喜んであげる。

敗北感を抱いたり、嫉妬したりするのではなく

素直に喜び、学ぶことが、

みなさん自身の成功につながるはずです。

そうは言っても、マイナスの感情から自由になるのは難しいものです。

そんなときは、「なりたくない自分」をイメージしてください。

表向きは仲間の成功を喜んでいても、陰では悪口を言っている。

プライドを守るために、自分ができなかった言い訳を述べる。

いずれも、みなさんの人間性や品格をおとしめてしまいます。

自分や相手の力量を認めながら、お互いに成長を目指しましょう。

自分が率先してやる

自分にはなかなか客観的になれないのが人間です。逆に、人の欠点やたりなさは何かと目につきます。

「あれじゃうまくいかない」

「もつとこうしたらいいのに」

そういう批判精神をもつのは、

必ずしも悪いことではありませんし

むしろやる気の表れであるかも知れません。

しかし、人を批判していても、

決して自分の成長にはつながりません。

人を批判する前に、まずは自分のことをふり返ってください。

「自分はできているか？」

「何か自分がやれることはないか？」

そして、何かが見つかったならば、

自分が率先して実行してください。

それはきつと仲間たちへの刺激となり、
会社全体の活性化をうながすでしょう。

率先力をもつて、よりよい方向に会社を導く。

私たちは、そんな人を求めています。



あいさつで絆を強く

「おはよう」「いってきます」「こんにちは」
これらのあいさつを、きちんとしていますか？

当たり前のことのように思えるかもしれませんが、
人間の慣れは怖いものです。

一度近しい関係を築くと、
基本的なあいさつさえもおろそかになります。

しかし、お互いのチームワークを維持し、高めるためには
あいさつがすべての基本なのです。

同時に大切なのは、「ありがとう」の一言。

いつもの仕事をしてくれる、

ゴミを片づけてくれる、

手伝ってくれる。

当たり前のようにでも、そこには仲間への気づかいがあります。

それに感謝し、「ありがとう」と心をこめていう。

そんなふるまいが、

家族のような固い絆で結ばれたチームを育ててゆくのです。

みなさんの明るいいあいさつで、私たちを元気にしてください。



積み重ねが信頼の礎

私たちは、ダンボールなど梱包資材の会社からスタートしました。創業者が一番大切にしていたのは、お客様からの信頼。

決して派手な事業ではありませんでしたが、いまある仕事を誠実にこなしてこそお客様は信頼してくれる。「みぼろに頼めば大丈夫」と思ってください。一つ一つの積み重ねが何よりも大切であることを説き続けました。

また、こんなたとえ話をよくしました。

「浴槽で、自分側にお湯をかきこんでも、うまくよってこない。むしろ外側に押し出すことで、大きな波になって返ってくる」人間関係も、仕事も、これとまったく同じだということです。

つまり、まずは相手の喜びを最優先に考えるということ。
創業当時から伝統です。

実際、私たちはこれらの方針を守り続けることで
お客様との強い信頼関係が生まれ、新たな事業へとつながりました。

ある取引先が大規模小売店に私たちを紹介してください、
キャンペーンギフトの発送を任せられたのです。

それが現在手がけている事業のはじまりでした。

そして、口コミでどんどん評判が広がり、

規模の拡大につながったのです。



新たなサービスを充実

こうして現在の事業モデルが完成するとともに
より効果的な企画を提案・運営する
SP事業も手がけはじめています。

プレゼントのお届けを通じて会社と応募者をつなぐ仕事には
お客様がかかえる多様な問題を解決に導く
無限の力が眠っているのです。

それを掘り起こし、最適な形で提供すること。
新たなサービスの充実により、
さらに大きな波が返ってくるはずです。



笑顔で挑戦し続ける

今後、私たちはさらなる成長を目指して、
事業を展開していきます。

そのときに求められるのは、
旧来のやり方や常識にしばられない斬新な発想と、
創造性にあふれた企画力。
そして、積極的な行動力。

モノだけの流通から、情報なども含めた流通へ。
私たちの仕事は、より大きな広がりを見せるでしょう。

きつとやりたいこと、挑戦してみたいことが見つかるはずです。



もちろん、新たな挑戦にはリスクも伴います。

しかし、私たちが心がけているのは、つねに笑顔をやささないこと。

笑顔で前進するハートがあれば、どんな困難も乗り越えられるはずですよ。

私たちとともに、

新たな「戦略物流システムの創造」を目指しましょう。

そして、物流プランナーのプロとして、大きく成長してください。

みなさんの笑顔が見られる日を、心待ちにしています。

ここでお伝えしたのは、
私たちの仕事や心構えの一部ですが
なんとなくご理解いただけただけでしょうか。

魅力を感じてくれた人、
そうでもない人、
いろいろだと思えます。
しかし、とにかく大切なのは、

その気持ちが「TRUE」かどうか。

みなさんの

「TRUE」を、

遠慮なく私たちにぶつけてください。
ともに未来を築いていきましょう。



True Story

当社は包装資材を扱う会社として、1959年に創業いたしました。

それ以来「お客様の喜びに真摯によりそう」を経営の根本に置き、歴史を築いてまいりました。

おかげさまで多くのお客様から信頼をおよせいただき、業容の拡大を図っております。

物流というサービスに決まった形はありません。

時代の激しい流れの中、

運ぶ品物、運び方、交通網などは、

今後新たな変化を遂げるでしょう。

私たちは「真」の精神を基本に、

変化の時代に対応しうる人材・サービスを育ててまいります。

また、より多くのお客様のお役に立てるよう、

さらなる成長と事業展開に挑戦しながら、

新たな「戦略物流システムの創造」を目指してまいります。

今後も、あらゆるお客様のご発展に貢献できますよう、

社員一同、心を一つに精進してまいります。

いつそらのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役

御母衣崇秀



